

公益社団法人 日本造園学会北海道支部

2020 年度総会議案書

< メール審議 >

総会次第

1) 議事

- ・ 2021 ・ 2022 年度支部長候補者選出

2) 報告

- ・ 2019 年度事業報告 (資料 1)
- ・ 2019 年度会計報告 (資料 2)
- ・ 2020 年度運営委員 (資料 3)
- ・ 2020 年度事業計画 (資料 4)
- ・ 2020 年度予算 (資料 5)

(公社)日本造園学会北海道支部 2019年度活動報告

1. 北海道支部大会

日時：2019年10月5日(土)

会場：北海道大学農学部

主催：公益社団法人日本造園学会北海道支部

共催：一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会北海道支部、一般社団法人北海道造園緑化建設業協会

後援：国土交通省北海道開発局、環境省北海道地方環境事務所、北海道、札幌市、公益社団法人日本都市計画学会北海道支部、特定非営利活動法人ガーデンアイランド北海道

参加者数：大会 113名、懇親会 43名

内容：

- ・研究・事例発表(口頭発表：7件、ポスター発表：27件)
- ・日本造園学会賞(事業・マネジメント部門)受賞者講演「ガーデンアイランド北海道の取り組み」
有山忠男氏(特定非営利活動法人ガーデンアイランド北海道理事・事務局長)
- ・シンポジウム「グリーンインフラとしての身近な緑」
趣旨説明・進行 太田広氏(日本造園学会北海道支部長)
基調講演 山下三平氏(九州産業大学)「あまみず社会の適正技術としてのグリーンインフラ
地域・風土に根差した分散型水管理の試み」
特別講演 福岡孝則氏(東京農業大学)「グリーンインフラを活かした都市・地域の再編集」
事例報告 河岸茂樹氏(横浜市)「気候変動に適応したグリーンインフラの活用(横浜市の事例)」
中林光司氏(札幌市)「札幌市のグリーンインフラの事例」

パネルディスカッション

パネリスト：山下三平氏(九州産業大学)、福岡孝則氏(東京農業大学)、河岸茂樹氏(横浜市)、
中林光司氏(札幌市)、太田広氏(寒地土木研究所)

コーディネーター：松島肇氏(北海道大学)

2. 北の造園遺産認定事業

北の造園遺産研究会

日時：2019年4月26日(木)18:00-19:00

会場：札幌市公園緑化協会 会議室

出席委員：浅川昭一郎(委員長)、太田広、木村篤、伊藤節夫、岡本康寿、酒井裕司、大林圭司、新
谷克教、笠康三郎、高橋美香

1. 第10次募集の候補について
興楽園(西興部村) 推薦決定
神楽岡公園(旭川市) 推薦決定
2. 審査委員会の日程と構成について
・5月の3週目を予定していたが、角先生と太田支部長の日程が合わないため、5月最終週で再調整する。
3. ランドスケープ遺産のインベントリーの充実に向けて
・インベントリーのリスト(配布資料)をホームページに掲載する
・インベントリー選定基準については、今後の課題とする。
・根室や宗谷など遠方のリストも増やしたいので、協力をお願いしたい
4. パネル展など広報体制について
・道庁でのパネル展示を今年も実施予定。
・豊平館、資料館、かでの2・7(1階ホール)、モエレ沼公園ガラスのピラミッド、札幌市民交流プラザ(モール、スタジオ)を検討してみたが、空き状況や予算などを考慮すると、札幌市民交流プラザが一番良さそうなので、予算の範囲内であれば予約する方向で考えたい。

第10次『北の造園遺産』選考委員会

日時：2019年5月30日(木) 18:00-19:00

会場：札幌市公園緑化協会 会議室

出席委員：浅川昭一郎(委員長)、角幸博、太田広、酒井裕司、木村篤

事務局(笠康三郎、岡本康寿、高橋美香)

1. 第10次『北の造園遺産』の選考の結果、「興楽園」(西興部村)、「神楽岡公園・上川神社境内域」(旭川市)の2件が特に優れた「ランドスケープ遺産」として「北の造園遺産」に認定された。

「未来に残したい!北の造園遺産パネル展」

日時：2019年12月7日(土)~9日(月) 9:00-18:00(7日(土)のみ10:00-18:00)

会場：札幌市民交流プラザ(札幌市中央区北1条西1丁目)

1. 北海道に現存するランドスケープ遺産の中から特に優れたものを「北の造園遺産」として認定し、顕彰する活動を広く市民の皆様にご覧いただくため、北の造園遺産に認定された庭園、公園、緑地等を紹介する「未来に残したい!北の造園遺産パネル展」を開催した。
2. 3日間の会期中に562名の見学者が訪れ、ランドスケープ遺産保全の重要性を訴求することができた。

第11次『北の造園遺産』候補の募集

支部ホームページおよびメーリングリストにて、第11次北の造園遺産候補の募集を開始した。応募締め切りは2020年3月31日とした。

3. 北のランドスケープ研究集会

第1回 「女性活躍を広げる造園・環境緑化産業界の現況：-5年間の活動を振り返って-」(造園CPD

1.0h)

日時：2019年10月8日(火) 18:00-19:00

会場：北海道大学農学部 S11 講義室

講師：酒井一江氏(一般社団法人日本造園建設業協会顧問)

要旨：講師の酒井氏より、女性活躍推進法を踏まえた日本造園建設業協会の委員会・部会やその取り組みとして、アンケートや冊子発行などの取り組みや各地の反響を紹介いただいた。次に、参加者から北海道における地域レベルの取り組みや今後の活動などについて発言していただいたあと、会場の参加者を含めたディスカッションが行われた。ディスカッションでは、造園建設業の参加者だけでなく、ランドスケープ・コンサルタントや学生からも意見が交わされ、男女に関係なく労働環境や働き方について、また、大学等を含めた一層の情報発信が必要なことなどについて熱心な議論が行われた。

参加者：30名の参加があった。

4. 北海道支部運営委員会

第1回

日時：2019年4月15日(月) 18:30-20:45

会場：札幌市立大学サテライトキャンパス

出席委員：太田、愛甲、四宮、椎野、上田、大島、片桐、近藤、孫田、高瀬、中田、福原、松島、矢部、オブザーバー(篠宮、金沢、笹山、新谷)

1. 2019・2020年度運営委員について、配付資料により名簿の確認を行った。
2. 2019年度事業計画・予算について、原案どおり承認された。
3. 2019年度の事業スケジュールが確認され、原案どおり承認された。
4. 2019年度運営委員役割分担が資料により示され、審議の結果一部担当者の変更を加えた内容が承認された。
5. 北の造園遺産認定事業について、資料により札幌資料館のほか、モエレ沼公園での巡回展などの開催も検討してはどうかとの意見があった。また「造園遺産研究会に関する規定類がな

ければ作成したほうがよいのでは」との意見があり、次回運営委員会までに検討を進めることになった。

6. 2019年度支部大会について、開催日程、会場について検討した結果、日程は10月5日(土)、会場は北海道大学で調整を進めることになった。シンポジウムテーマとして Park-PFI、公園とスポーツ、公園と防災、グリーンインフラ、歴史まちづくり、造園業界の若手の話、ガーデンツーリズムなどのテーマ案が議論された。
7. 支部表彰に関する申し合わせについて資料が説明され、今後内容について検討を進めることになった。

第2回

日時：2019年9月24日(火) 18:30-20:30

会場：札幌市立大学サテライトキャンパス

出席委員：太田、四宮、椎野、上田、片桐、北岡、近藤、酒井、櫻井、孫田、高瀬、中田、福原、松島、村田、森本、オブザーバー(篠宮、山田、岡本)

1. オブザーバーの方2名の異動にともない、後任の方2名にオブザーバーとして就任いただいた。
2. 資料により支部大会会場配置を確認した、
3. 支部大会口頭発表が7題、ポスター発表が27題予定されていることが報告された。
4. 支部大会要旨原稿が回覧され、参加委員により内容を確認した。
5. 支部大会役割分担について運営マニュアル、役割分担表にもとづき、支部大会役割分担を確認した。運営マニュアルについては委員会において追加修正を行ったが、さらに運営委員宛てにメール確認を行い、大会当日までに確定することとした。
6. 支部大会総会議案書が資料により説明され、原案通り承認された。
7. 支部長より優秀賞(一般部門)の趣旨、審査基準等が資料により説明され、承認された。また来年度以降、もし状況が変われば改定が行われることが確認された。
8. 支部長よりランドスケープ研究会の申し合わせにならって作成された北の造園遺産研究会に関する申し合わせ(案)が資料により説明され、承認された。
9. 第1回北のランドスケープ研究集会として、日本造園建設業協会の酒井さんをお招きし研究会「女性活躍を広げる造園・環境緑化産業界の現況」が10月8日(火)18:00~19:00に北海道大学で開催されることが報告された。
10. 来年度の研究会テーマについて、公共空間で流れる音楽を作曲されている方が来年度北海道に来られる予定があり、「音と環境について」というテーマで実施してはどうかとの提案があった。

第3回

2020年3月17日(火)(メール会議、新型コロナウイルス感染症防止対策のため)

1. 全国大会の北海道開催について、12月の支部長会において「全国大会開催を希望する支部は申し出てほしい」との意向が示され、支部として回答(2案)を提示し意見を求めた。回答案1:「2021年度は開催希望しないことのみ回答」、回答案2:「2021年度は開催希望はしないことと、2022年度は北海道での開催希望を検討している(緑化フェアとの相乗効果を期待)」と回答、開催場所は明示しない」についてメール会議の結果、回答案1に賛同:2名、回答案2に賛同:16名となった。
2. 支部大会テーマとして「アイヌ文化・文化的景観に関するテーマ案」、「新型コロナウイルスとランドスケープの役割に関するテーマ案」、「人口減少社会におけるみどりの管理に関するテーマ案」などが示された。
3. 2020年度支部大会開催候補日として10月3日(土)、10月10日(土)、10月17日(土)を提示し、委員会開催現時点での参加可否を確認した。
4. 2020年度実施予定の見学会案(時期、訪問先、参加費)を提示し意見を求めた。
時期:6月上旬~7月中旬(全国大会後~オリンピック前)
場所(候補):ウポポイを中心に、イコロの森、平取町重要文化的景観など

参加費（施設利用料等含む）：一般 3000 円、学生・学会員 2000 円（予定）

メール会議の結果、「新型コロナウイルスの状況見て開催日検討すべき」、「原案に賛成（同意見、他 12 名）」、「高野ランドスケーププランニングが設計し 2018 年にオープンした、「ナチュの森」<<https://nachunomori.jp/>>も入れるべき」との意見があった。

5. 今年度の事業・決算報告、来年度の事業・予算計画等について確認した結果、「収入に見学会の参加収入を見込まなくてよいか？」との意見があり、予算案を修正した。
6. 次年度の運営委員、オブザーバー継続について確認した。

5. 北海道支部大会実行委員会

第 1 回

日時：2019 年 5 月 20 日（月）18:30 - 20 : 30

会場：札幌市立大学サテライトキャンパス

出席者：太田、愛甲、上田、大島、近藤、椎野、四宮、孫田、高瀬、中田、中林、福原、松島、村田

1. 支部大会シンポジウムの企画について、意見交換を行った。
2. 支部大会全体のスケジュール・広報案資料により説明され、委員会の場で修正された内容が承認された。
3. 口頭発表登録整理票の入力項目が要約 300 字、和文英文キーワードが以前は本部でまとめていたが、現在は実施していない。議論の結果、今年度については前年までの通り要約、キーワード等を同一書式により申込まない方法とすることになった。
4. ポスター発表・学生表彰を 2015 年度以降、受賞者の氏名、タイトル、講評をホームページに掲載しなくなっており、今年度から掲載することとなった。

第 2 回

日時：2019 年 6 月 24 日（月）18:30 - 20 : 00

会場：札幌市立大学サテライトキャンパス

出席者：太田、大島、椎野、孫田、福原、松島

1. 支部大会スケジュールを配付資料により確認した。
2. 支部大会シンポジウム案「グリーンインフラとしての身近な緑（仮）」が配付資料により説明された。基調講演として山下三平氏（九州産業大学）特別講演として福岡孝則氏（東京農業大学）に了承いただいております、事例報告として横浜市、札幌市から報告をいただいた後、パネルディスカッション（コーディネーター松島肇氏（北海道大学））を行う計画案が示され、承認された。支部 HP において事前に講演者等に対する質問・コメントを募集することになり、北の造園広場でも合わせて募集することとなった。
3. 配付資料により支部大会準備に向けた業務分担、内容、会場について確認した。

6. 後援・共催等

後援：NPO 法人ガーデンアイランド北海道 映画「FIVE SEASONS」上演会

（2019 年 4 月 13 日、札幌）

後援：国土交通省 北海道ガーデン街道 10 周年記念ガーデンツーリズムセミナー

（2019 年 8 月 26 日、帯広）

後援：日本都市計画学会北海道支部 令和元年度第 1 回都市地域セミナー

（2019 年 10 月 24 日、札幌）

後援：日本都市計画学会北海道支部 令和元年度研究発表会（2019 年 11 月 16 日、札幌）

	収入	予算額	決算額	備考
①	支部大会参加費収益	¥100,000	¥76,000	支部大会への参加費。2,000円/人(一般参加費)×38人(一般参加者)
①	支部大会受取負担金	¥200,000	¥200,000	一社・北海道造園緑化建設業協会および一社・ランドスケープコンサルタンツ協会北海道支部より、各100,000円
④	前年度繰越金	¥1,255,358	¥1,255,358	前年度繰越金より
⑤	学会本部補助	¥300,000	¥300,000	学会本部からの学会支部への補助
⑤	雑収入	¥200	¥11	利子収入
	計	¥1,855,558	¥1,831,369	

事業項目	具体的内容	支出	予算額	決算額	備考
① 支部大会の開催	研究・事例報告会およびシンポジウムを開催する	賃借料	¥100,000	¥158,200	北海道大学農学部、中央食堂
		臨時雇給与	¥27,000	¥14,000	受付アルバイト
		旅費交通費	¥90,000	¥183,140	河岸氏: 50,340円、山下氏: 83,220円、福岡氏: 49,580円
		諸謝金	¥60,000	¥0	
		消耗品費	¥40,000	¥37,837	チラシ代、文具代等
		会議費	¥10,000	¥17,458	弁当・水代
		雑費	¥1,000	¥1,430	振込手数料
		小計		¥328,000	¥412,065
② 研究・事例報告発表要旨／会報の発行	支部大会開催時に研究・事例報告発表要旨／会報を編集・発行する	印刷製本費	¥108,000	¥115,500	150冊×700円
		雑費	¥500	¥220	振込手数料
		小計	¥108,500	¥115,720	
③ ランドスケープ遺産および北の造園遺産認定事業	北海道のランドスケープ遺産の収集に努めて目録を作成すると共に、北の造園遺産の新規募集、認定、および広報を行う	諸謝金	¥12,000	¥11,137	選定委員謝金(角幸博氏)、内源泉¥1,137
		印刷製本費	¥40,000	¥0	
		通信運搬費	¥10,000	¥890	郵送料
		旅費交通費	¥50,000	¥0	
		賃借料	¥40,000	¥56,250	北の造園遺産パネル展(札幌市民交流プラザ)
		消耗品費	¥10,000	¥21,591	コピー代、文具代等
		委託費	¥0	¥96,664	パネル制作業務委託(株式会社ブラッツ)
		雑費	¥500	¥1,852	振込手数料
小計		¥162,500	¥188,384		
④ 産官学交流人材育成事業	支部会員を中心に、産官学の交流および人事材育成を目的とした集会や講演会を行う	諸謝金	¥100,000	¥0	
		旅費交通費	¥250,000	¥0	
		賃借料	¥50,000	¥0	
		消耗品費	¥50,000	¥0	
		次年度繰越金	¥685,058	¥1,036,643	
		小計		¥1,135,058	¥1,036,643
⑤ 運営委員会の開催	支部運営および支部大会の開催について話し合う	旅費交通費	¥70,000	¥62,400	札幌市外から運営委員会に参加する委員への交通費補助
		消耗品費	¥10,000	¥0	文具費
		通信運搬費	¥10,000	¥500	郵送料
		賃借料	¥10,000	¥0	
		雑費	¥1,000	¥870	残高証明書
		小計		¥101,000	¥63,770
⑥ ホームページ・メーリングリストの運営	支部ホームページやメーリングリストを通じた情報発信・交換	コンピューター費	¥20,000	¥14,133	ホームページ／メーリングリストの維持管理
		雑費	¥500	¥654	振込手数料
		小計	¥20,500	¥14,787	
合計		¥1,855,558	¥1,831,369		

2019・2020年度 (公社)日本造園学会北海道支部 運営委員名簿

肩書き	姓	名	所属
支部長	太田	広	国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所
副支部長	愛甲	哲也	北海道大学大学院農学研究院花卉・緑地計画学
	四宮	繁	(株)四宮造園
(総務担当)	椎野	亜紀夫	札幌市立大学デザイン学部
運営委員	市村	恒士	室蘭工業大学大学院工学研究科くらし環境系領域建築ユニット
	上田	裕文	北海道大学メディア・コミュニケーション研究院
(会計担当)	大島	卓	札幌市立大学デザイン学部
	片桐	尉晶	(有)片桐仏壇店 アトリエピアノ
	北岡	真吾	(株)ライヴ環境計画
	近藤	哲也	北海道大学大学院農学研究院花卉・緑地計画学
	酒井	裕司	イメージランドスケーププランニング
	櫻井	亮一	(株)KITABA
	孫田	敏	(有)アークス
	高瀬	勝彦	高瀬環境緑化(株)
	中田	康隆	北海道立総合研究機構 森林研究本部 林業試験場
	中林	光司	札幌市建設局みどりの推進部みどりの管理課
	野村	理恵	北海道大学大学院工学研究院建築都市空間デザイン部門空間計画分野
	福原	賢二	(株)ドーコン都市・地域事業本部
	松島	肇	北海道大学大学院農学研究院花卉・緑地計画学
	村上	健太郎	北海道教育大学教育学部
	村田	周一	高野ランドスケーププランニング(株)
	笠	康三郎	(有)緑花計画
オブザーバー	篠宮	章浩	国土交通省北海道開発局事業振興部都市住宅課
	寺岡	伸幸	国土交通省北海道開発局札幌開発建設部国営滝野すすらん丘陵公園事務所
	大林	圭司	環境省北海道地方環境事務所
	山田	学	北海道建設部まちづくり局都市環境課公園緑地グループ
	西野	友里	北海道環境生活部環境局生物多様性保全課
	鈴木	浩二	札幌市建設局みどりの推進部みどりの管理課
	関野	壮	(公財)札幌市公園緑化協会

委員会名	北海道支部
担当者氏名	椎野亜紀夫(総務担当)
担当者メールアドレス	a.shiino@scu.ac.jp
作成年月日	2020年1月24日

区分※1	項目番号	項目	具体的内容	事業区分との対応※2					新定款第4条各号との対応※3								
				調査研究	出版	講習研修	専門教育	表彰	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	
通常業務	①	支部大会の開催	研究・事例報告会およびシンポジウムを開催する			●	●	●	●		●	●	●	●	●		
	②	研究・事例報告発表要旨／会報の発行	支部大会開催時に研究・事例報告発表要旨／会報を編集・発行する		●						●						
	③	ランドスケープ遺産および北の造園遺産認定事業	北海道のランドスケープ遺産の収集に努めて目録を作成すると共に、北の造園遺産の新規募集、認定、および広報を行う			●		●	●			●		●	●	●	
	④	見学会の開催	北海道内のランドスケープ資源を対象とした見学会を開催する			●			●					●			
	⑤	産官学交流人材育成事業	支部会員を中心に、産学官の交流および人事材育成を目的とした集会や講演会を行う	●		●	●		●		●	●	●	●		●	
	⑥	運営委員会の開催	支部運営および支部大会の開催について話し合う			●											●
	⑦	ホームページ・メーリングリストの運営	支部ホームページやメーリングリストを通じた、関連行事の案内、関係者の情報交換を進める		●												●
新規業務																	

※1 「通常業務」は毎年度定期的実施している業務。「新規業務」は次年度新たに取り組む業務。
 ※2 事業区分との対応については、該当する欄に●印を付けて下さい。区分については別添ファイル「参考資料_事業区分.pdf」をご参照下さい。
 ※3 定款第4条各号との対応についても、該当する欄に●印を付ける。なお、各号とは以下のとおり。(1)研究発表会、講演会、講習会、見学会および展覧会等の実施、(2)機関誌および図書の発行、(3)調査および研究、(4)学術および技術に係わる専門教育とその評価、(5)関連諸団体との連絡および提携、(6)業績および功勞の表彰ならびに奨励および援助、(7)普及、啓発および提言、(8)その他本会の目的を達成するために必要な事業

2020(令和2)年度日本造園学会北海道支部予算

令和2年4月1日

	収入	予算額	備考
①	支部大会参加費収益	¥100,000	支部大会への参加費。2,000円/人(一般参加費)×50人(一般参加者)
①	支部大会受取負担金	¥200,000	一社・北海道造園緑化建設業協会および一社・ランドスケープコンサルタンツ協会北海道支部より、各100,000円
④	事例見学会参加費収益	¥90,000	見学会への参加費。3,000円/人(一般参加費)×10人、2,000円/人(学生・学会員参加費)×30人
⑤	前年度繰越金	¥1,036,643	前年度繰越金より
⑥	学会本部補助	¥300,000	学会本部からの学会支部への補助
⑥	雑収入	¥200	利子収入
	計	¥1,726,843	

事業項目	具体的内容	支出	予算額	備考
① 支部大会の開催	研究・事例報告会およびシンポジウムを開催する	賃借料	¥150,000	支部大会会場費
		臨時雇給与	¥27,000	支部大会の受付アルバイト9,000円/人日×3人日=27,000円
		旅費交通費	¥90,000	シンポジウムパネリストへの旅費交通費
		諸謝金	¥60,000	シンポジウムパネリストへの謝金
		消耗品費	¥40,000	複写費、文具費等
		会議費	¥10,000	弁当代、水代等
		雑費	¥1,000	振込手数料
		小計	¥378,000	
② 研究・事例報告発表要旨/会報の発行	支部大会開催時に研究・事例報告発表要旨/会報を編集・発行する	印刷製本費	¥108,000	600円/冊×180冊=108,000円
		雑費	¥500	振込手数料
		小計	¥108,500	
③ ランドスケープ遺産および北の造園遺産認定事業	北海道のランドスケープ遺産の収集に努めて目録を作成すると共に、北の造園遺産の新規募集、認定、および広報を行う	諸謝金	¥12,000	選定委員謝金
		印刷製本費	¥40,000	北の造園遺産認定証の作成、パネル作成費
		通信運搬費	¥10,000	北の造園遺産認定証の郵送費、パネル運搬費
		旅費交通費	¥50,000	ランドスケープ遺産および北海道造園遺産の現地調査
		賃借料	¥40,000	パネル展の会場費
		消耗品費	¥10,000	会場設営等にかかる消耗品費、コピー代
		雑費	¥500	振込手数料
		小計	¥162,500	
④ 事例見学会の実施	研究交流を目的とした見学会を実施する	旅費交通費	¥140,000	見学会のための大型バス借上代
		雑費	¥1,000	振込手数料
		小計	¥141,000	
⑤ 産官学交流人材育成事業	支部会員を中心に、産官学の交流および人材育成を目的とした集会や講演会を行う	諸謝金	¥100,000	人材育成のための講演会講師謝金
		旅費交通費	¥250,000	産官学交流/人材育成のための旅費交通費
		賃借料	¥50,000	会場費
		消耗品費	¥50,000	複写費、文具費、資料費等
		次年度繰越金	¥365,343	次年度以降の産官学交流および人材育成事業費として繰り越し
		小計	¥815,343	
⑥ 幹事会、常任幹事会の開催	支部運営および支部大会の開催について話し合う	旅費交通費	¥70,000	札幌市外から幹事会に参加する幹事への交通費補助
		消耗品費	¥10,000	複写費、文具費、会場費等
		通信運搬費	¥10,000	郵便、ファックス等
		賃借料	¥10,000	会場費
		雑費	¥1,000	残高証明書等
小計	¥101,000			
⑦ ホームページ・メーリングリストの運営	支部ホームページやメーリングリストを通じた情報発信・交換	コンピューター費	¥20,000	ホームページ/メーリングリストの維持管理
		雑費	¥500	振込手数料
		小計	¥20,500	
	合計	¥1,726,843		